



令和3年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【要申込・無料】

4/12(月)から
受付開始

お名前・住所・電話番号・
希望日を添えてお申込み
ください。

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

第1回 4/25(日)	春季企画展の見どころ 講師:滝沢 規朗 (新潟県埋蔵文化財センター)	【内 容】「米どころ新潟」として全国にその名がとどろく新潟県。米作りが開始されてから現在に至るまでの生産、調理法、食べ方の移り変わりなどをテーマにした春季企画展の見どころ、講演会の聞きどころを解説します。
第2回 5/30(日)	越後・佐渡の風土と生産力 講師:坂井 秀弥 氏 (奈良大学名誉教授)	【内 容】「米どころ新潟」と言われますが、今から約1,300年前の古代ではそうではありませんでした。風土や米作りのあり方も一様ではなく、近世以降は大規模な新田開発もありました。近年の考古学の成果も踏まえ越後・佐渡の特性に迫ります。
第3回 6/27(日)	出土品からみた お米の炊き方・食べ方 講師:小林 正史 氏 (北陸学院大学教授)	【内 容】現在、私たちが食べているお米は、世界各地と比較すると最も粘り気が強い品種で、箸を使って食べています。これは、いつからか。遺跡から見つかる出土品の最新の分析から、お米の炊き方、食べ方の移り変わりとお米の品種に迫ります。
第4回 7/11(日)	初期荘園 講師:伊藤 秀和 氏 (加茂市教育委員会)	【内 容】奈良時代に入ってから約数十年後、越後平野ではたくさんの遺跡が見つかるようになります。その一つが、多くの構築物や多種・多様な出土品が見つかった加茂市馬越遺跡。その調査成果から、初期荘園の実態に迫ります。
第5回 8/22(日)	中近世の水田と畠 講師:佐藤 友子 (新潟県埋蔵文化財センター)	【内 容】これまで実態が不明であった新潟県の鎌倉・室町時代の水田や畠。この20年程の発掘調査で、飛躍的に調査事例が増加しました。遺跡の発掘調査で得られた成果から、中世から近世の水田、畠の実態を解説します。

第6回～8回はウラ面をご覧ください。

◇講演時間 13:50～15:20(受付13:20から)

◇定員 40人(定員になり次第受付終了)

※空席があれば当日ご入場いただけます。

◇申込・会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 MAIL:niigata@maibun.net



佐渡を世界遺産に



いきいき
県民カレッジ

当センターは花と遺跡のふるさと公園内にある県立植物園の裏にあります。バスは「美術館・植物園前」下車徒歩約3分

◇バス時刻 (秋葉区バス)

※秋葉区バスの詳細は秋葉区のホームページ等をご覧ください。



新津駅から

【行き】新津駅東口 13:10 発→美術館・植物園前 13:34 着
【帰り】美術館・植物園前 15:41 発→新津駅東口 16:05 着

矢代田駅から

【行き】矢代田駅 11:49 発→美術館・植物園前 11:56 着
【帰り】美術館・植物園前 17:07 発→矢代田駅 17:12 着

手話通訳・要約筆記に対応します。

※ご希望の方は開催日1か月前までにご連絡ください。



令和3年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【要申込・無料】

7/1(木)から
受付開始

お名前・住所・電話番号・
希望日を添えてお申込み
ください。

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

第6回 9/19(日)	邪馬台国時代の新潟 講師：滝沢 規朗 (新潟県埋蔵文化財センター)	【内容】女王・卑弥呼がいた時代とされる2～3世紀。戦乱を経て、ヤマト政権が成立したとされるこの時期、新潟県の状況はどうだったのか。この20年程の発掘調査で激変した新潟県の歴史的重要性に迫ります。
第7回 10/24(日)	中央からみた 古墳時代の新潟 講師：青木 敬氏 (國學院大學教授)	【内容】古墳が安定的に分布する日本海側最北の地・新潟。近年では、胎内市城の山古墳、新潟市古津八幡山古墳・牡丹山諏訪神社古墳の調査で、続々と新たな展開が。古墳時代の新潟について、畿内など中央の視点から迫ります。
第8回 11/21(日)	淳足柵・磐舟柵造営の意義 講師：浅井 勝利氏 (新潟県立歴史博物館)	【内容】647年、648年に相次いで新潟県北部に造営したとされる二つの城柵。未だに発見されていませんが、これらの城柵が造営された背景やその意義、そしてどこにあるのか。最新の研究成果から、これらの謎に迫ります。

第1回～5回はオモテ面をご覧ください。

★予告★水曜日の職員講座

12月～2月の水曜日に、計5～6回、県・市町村の専門職員が、調査・研究成果を通じて遺跡・遺物の重要性を発信する講座を計画しています。



詳しくは秋以降に
ホームページ等で
お知らせします

◇講演時間 13:50～15:20(受付 13:20 から)

◇定員 40人(定員になり次第受付終了)

※空席があれば当日ご入場いただけます。

手話通訳・要約筆記に対応します。

※ご希望の方は開催日1か月前までにご連絡ください。

◇申込・会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 MAIL:niigata@maibun.net



当センターは花と遺跡のふるさと公園内にある県立植物園の裏にあります。バスは「美術館・植物園前」下車徒歩約3分

◇バス時刻 (秋葉区バス) ※秋葉区バスの詳細は秋葉区のホームページ等をご覧ください。



新津駅から

【行き】新津駅東口 13:10 発→美術館・植物園前 13:34 着
【帰り】美術館・植物園前 15:41 発→新津駅東口 16:05 着

矢代田駅から

【行き】矢代田駅 11:49 発→美術館・植物園前 11:56 着
【帰り】美術館・植物園前 17:07 発→矢代田駅 17:12 着